

事例

# 地域見守り活動推進事業

千ヶ峰会 (兵庫県) 〒652-0875 神戸市兵庫区浜中町1丁目16番18号 TEL 078-652-8731

## 活動の概要

地域見守り活動を推進することを目的とします。

①小地域見守連絡会議の運営やひとり暮らし高齢者情報等の収集・管理など、地域見守り活動の支援 ②見守希望者等からの相談や地域住民からの通報への対応 ③見守りが手薄な地域への暫定的な訪問活動 ④高齢者生活情報等の収集・提供等 ⑤その他前各号に付随する業務。

対象者 ①おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者 ②ひとり暮らし高齢者ではないが、これに準じる高齢者世帯。区社協に報告。

## 法人の概要

法人の設立は、平成4年4月1日ですが、その背景として、村おこしのコーディネーターをしており、設立者の高木俊博氏より相談があり、その時の町長の協力もあり社会福祉法人千ヶ峰会ができました。その設立メンバーの1人として参加、その7年後に神戸に公募があり、当法人も名のりを上げ、採用されました。立地は神戸の中心部、兵庫区のワールドサッカー会場になったウイングスタジアムの西160mに位置し、駅から徒歩1分という好立地に建っています。また、環境としては、幹線道路高松線から一本離れているため、非常に閑静な住宅地となっています。交通の利便性も良く、特別養護老人ホーム等の福祉施設立地条件はととのっており、理想的です。

●経営施設数…3

●法人全体の年間事業収入…800,000千円

●主な経営施設

特別養護老人ホーム ヘルシービラ加美

平成4年設立 定員60名

特別養護老人ホーム 花みさき

平成11年設立 定員50名

浜山高齢者介護支援センター

平成11年設立 定員ショート20名

デイ40名

## 実施施設の概要

●施設名…浜山高齢者介護支援センター

●施設種別…定員ショート20名 デイ40名

## 施設の運営方針

高齢社会の到来に向けて、おとしよりが住みなれた街で必要な援助を受けられるよう、また、介護をされる方の負担を少しでも軽くできるよう、心の通った福祉サービスを提供し地域の核として貢献することをめざしています。

## 活動の内容

●活動対象者…ひとり暮らし、高齢者、  
これに準じる高齢者世帯

●年間延利用者数…489名

●活動開始年…平成13年

## 活動開始の背景（取り組みの経緯）

地域高齢者の見守り活動を円滑に進めていくには、やはり信頼関係が重要です。まず、地域の見守り相談をされている民生委員、自治会長、婦人会、老人会、管理人との交流を深めました。昔からの地域性が強いなか、その特性を知り、

## 1. 地域ニーズへの対応

### (1) 施設機能などの地域還元

地域見守り活動推進事業への理解をしていただき、また、地域住民の高齢者に生活情報誌等にて情報を伝えるために、高齢者の集まる行事に参加させていただいています。給食会等にも参加し、レクリエーションも実施させていただいています。このような活動の中から、お互いに信頼し合うことにより、多くの情報交換、情報提供ができます。高齢者も気軽に相談ができ、より良い見守り活動ができるのではないかと思っています。

#### ■人材・資金面等での工夫、苦慮

地域見守り活動の内容を行うということは、やはり住民の生活に入り込むことが多くなります。色々と他人には話せないことを聞く場合が多く、信頼関係ができると同時に発生します。それは見守り活動の対象者だけではなく、一般の住民にも言えることです。守秘義務のある中、その情報をどこでどう活かしていくか、守っていくかを考慮していくのが難しい点です。間違った使い方をすると、見守り活動ではなくなるからです。人間それぞれ生まれ育ち、考え方の違う中で、言葉一つ使うのにも神経をとがらせ会話をするのが現実です。まず、この行動を理解する者でないとこの活動は成り立ちません。そして一番に、偏見を持っている者は、相手もそれを見抜くため、見守り活動には適しません。

#### ■利用者の声、地域の反応

地域との交流を第一に考えて活動をした結果、民生委員との情報交換もスムーズにできるようになり、民生委員だけれども同じ住民として立ち入りが困難なケースは訪問し、情報提供をさせていただいています。民生委員等から信頼をうけ高齢者を訪問し、情報提供をするなど、多忙な民生委員に高い評価をいただいています。

す。また、地域の高齢者に関しても、自分の抱えている心配事や不安に思っている事を気楽に話せるようになり、給食会等の行事や訪問時の途中でも声をかけられ相談を受けることが多くなりました。何よりも、独居高齢者の方々に「気にかけてもらってうれしい」「一人でないと安心している」「いつでも訪問してほしい」と言われる事が多くなりました。

### 活動の成果、地域の影響、今後の課題

少子高齢化が進んでいる地域であり、現在、見守り活動や行事等をお世話してくださる方も年齢層が高い。これからはますます独居高齢者が増えていくことは避けられません。またその時、独居高齢者の居場所はどこにあるのか、生きがいをどこに見つけるのか、そして閉じこもりにならないようにするにはどうすれば良いかが今後の課題になると思います。元気な高齢者が急変し、死亡するケースもあるので、見守りの必要性についても考える必要があると思います。